

令和3年成人式 式辞

新年あけましておめでとうございます。江津市長の山下です。

今年、皆さんが成人としての次の一步を更に力強く踏み出していただく門出の場として、改めて成人式を開催することといたしました。今、新成人二年目の、自信に満ちた凛々しい表情を見ることができ、本当に嬉しく感じています。無事に成人式を迎えられ、誠におめでとうございます。江津市民を代表して、心からお祝い申し上げます。また、ご家族の皆様におかれましては、立派に成人されたお子様の姿を目にされ、感激もひとしおのことと思います。これまでのご苦勞に敬意を表するとともに、心よりお慶びを申し上げます。

さて、本市では「GO▶GOTSU 山陰の創造力特区へ」というスローガンを掲げ、創造力と独自性に満ちたキラリと光るまちの実現を目指しており、まちづくりの基本となる第6次江津市総合振興計画では、「山陰の創造力特区」を具体化するための様々な取り組みを展開しています。この取り組みには、市民の皆さまをはじめとする市内外の多様な人材による、世代やキャリアを越えた様々な価値観の交流や関係づくりを促し、様々な分野におけるイノベーションを生み出すことが必要となります。

ところで、皆さんは、柿本人麻呂という万葉歌人の名前をご存じだと思います。人麻呂の活躍した時代は大化の改新直後の激動の時代でした。その時代にあって、人麻呂は、日本文学の始まりとも言われる大きな足跡を残しました。石見相聞歌と呼ばれる、人麻呂がこの地域を詠んだ和歌の数々を皆さんもご存じかと思います。彼の功績がなければ、今日（こんにち）私たちが使っている日本語も日本文化も違ったものになっていたかもしれません。人麻呂は、まさに想像以上のクリエイティビティを發揮したのではないのでしょうか。大化の改新の「大化」とは、日本で最初の元号の名前です。今皆さんが生きる二四八番目の元号である「令和」の時代は、大化の改新にも劣らぬ、人類史に残る大転換のなかにあります。そして皆さんは、人麻呂が過ごしたともいわれる同じ土地で、同じ空気を吸って育ちました。きっと、彼のような豊かな創造性が、皆さんの中にも脈々と息づいているはずです。この激動の時代にあっても、皆さん一人一人が、現代の柿本人麻呂となって、豊かな創造性を發揮し、充実した輝かしい人生を歩んでいくことを確信しています。

そして同時に、皆さんの素晴らしい力によって、江津市が「山陰の創造力特区」として、より一層キラリと光るまちとなることを期待しています。

結びに、新成人の今後益々の活躍と、本日ご参会の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念してお祝いの言葉といたします。

令和4年1月2日

江津市長 山下 修